

令和6年度 青空保育園 自己評価表

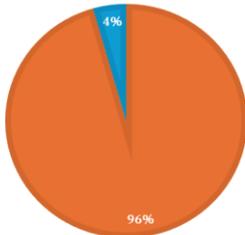
令和6年度 保育士25名に対し全国社会福祉協議会から出ている「人権擁護のためのチェックリスト」を利用しました。「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について保育を振り返り自らの保育の質を高める為、自己評価を行っています。チェックリストに掲載されている、している（していたことがある）は、今年度だけでなく逆のぼっての評価となっています。

1. 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかわり

| No. | 一日の流れ | 「良くない」と考えられるかわり | していない | している |
|-----|-------|------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 1 | 登園時 | 朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける | 25 | 0 |
| 2 | 日中 | 製作活動で子どもが書いた作品をみて、「そこ違うよ。もう一枚書いてみる?」とだけ言って、書き直すように働きかけた。 | 25 | 0 |
| 3 | | 排泄失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉かけをする。 | 25 | 0 |
| 4 | | 子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉かけをする。 | 23 | 2 |
| 5 | | 子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。 | 22 | 3 |
| 6 | | 苦手なことを渋っている子に、「早くやって。できないなら後ろに行って」と言ったり、他者と比較したりなど否定的な言葉かけをする。 | 25 | 0 |
| 7 | 昼食時 | 食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべて配膳せず、食べたらずのおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。 | 24 | 1 |
| 8 | 降園時 | お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と他の保護者にも聞こえるように言う。 | 25 | 0 |
| 9 | その他 | 子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。 | 25 | 0 |
| 10 | | 自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。 | 20 | 5 |

子ども一人ひとりの人格を尊重しないかわり

■ していない ■ したことがある



・子どもたち一人ひとりに合わせた言葉かけや関わり方を意識しました。子どもたちの気持ちを尊重し寄り添い出来たことはたくさん褒め自信へと繋がるように関わりました。

・（排泄）失敗してしまった子や周囲への気配り、職員に伝える際や着替えを行うときに、嫌な気持ちにならないよう配慮していきたいと思ひます。また排泄を促してしまうことも多いが、意思を尊重した関りを心掛けようと思ひます。

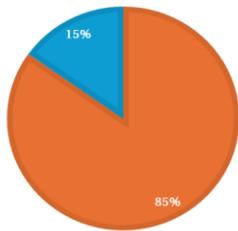
・保護者の方や職員の引継ぎの際など、待たせてしまうこともるので、「待たせてごめんね」「お話終わったら聞くね」など安心できるような言葉かけをするようにしていこうと思ひます。

2.物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ

| No. | 一日の流れ | 「良くない」と考えられるかかわり | していない | している |
|-----|-------|-----------------------------------------------------------------|-------|------|
| 1 | 日中 | 集団行動をするための言葉がけをした際、言葉かけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける。 | 15 | 10 |
| 2 | 昼食時 | ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。 | 25 | 0 |
| 3 | 午睡時 | なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事が出来ないんだよね」と言う。 | 25 | 0 |
| 4 | | 寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。 | 16 | 9 |
| 5 | その他 | どなったり、「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの（鬼等）を使ったりして、子どもの保育者の思い通りに動かそうとする。 | 25 | 0 |

物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ

■していない ■したことがある



・中々寝付けずにお話をしてしまい周りの子の午睡を阻害してしまうときには、ベッドの位置を変えることがあります。眠れなくても体を休められるように、他児の睡眠の確保も必要なので場面にあった対応をしています。また午睡できるよう保育内容も展開していけるよう努力していこうと思います。

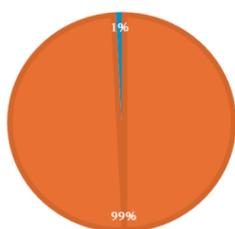
・集団行動において限られた時間の中で何かをするという状況になると、物事を強要するような関わり方になってしまうこともあるため、心に余裕をもちながら子どもたちが自ら動けるような関わり方を意識していこうと思います。

3.罰を与える・乱暴なかかわり

| No. | 一日の流れ | 「良くない」と考えられるかかわり | していない | している |
|-----|-------|--------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 1 | 日中 | 子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。 | 25 | 0 |
| 2 | | 並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待たず、腕を掴んで引っ張る。 | 24 | 1 |
| 3 | | 子どもを注意する際に、「だめよ!」と言って子どもの手を叩く。 | 25 | 0 |
| 4 | 午睡時 | なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。 | 25 | 0 |
| 5 | その他 | 保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。 | 25 | 0 |

罰を与える・乱暴なかかわり

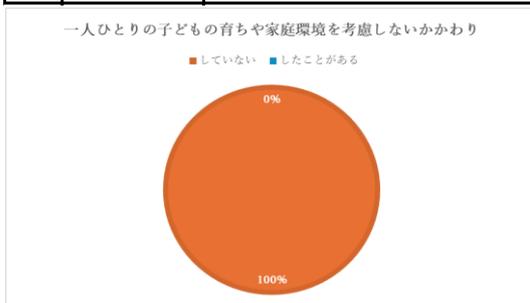
■していない ■したことがある



・並ぶときに腕をひっぱるは、遊びの中で子ども同士でも行うこともあるので、ひっぱると腕が抜けてしまうことを子どもたちにも知らせ事故のないようにしていきたいと思います。

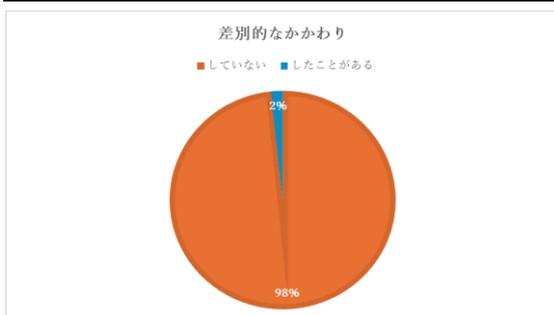
4. 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかわり

| No. | 一日の流れ | 「良くない」と考えられるかわり | していない | している |
|-----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 1 | 降園時 | いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。 | 25 | 0 |
| 2 | その他 | 登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また〇〇君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。 | 25 | 0 |
| 3 | | いつもぎりぎりの時間にお迎えにくる保護者に「いつもぎりぎりですね」と言ったり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。 | 25 | 0 |
| 4 | | 「お休みの日にどこに行ってきたかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう。 | 25 | 0 |



5. 差別的なかわり

| No. | 一日の流れ | 「良くない」と考えられるかわり | していない | している |
|-----|-------|------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 1 | 登園時 | 挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。 | 25 | 0 |
| 2 | 日中 | いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。 | 25 | 0 |
| 3 | 昼食時 | 少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、はじめから非常に量を少なくして配膳する。 | 23 | 2 |
| 4 | 午睡時 | 寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。 | 25 | 0 |
| 5 | 降園時 | クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。 | 25 | 0 |



<総評>

・令和6年度の、自己評価は昨年度も行っていいので、子ども達への言葉かけや対応を意識しながら保育を心掛けていきました。子どもたち一人一人の個性を大切にしながら、個々に合わせた言葉かけや対応を心掛け安心して過せる環境づくりをしていきたいと思ひます。